

2016年5月23日



2016年3月期
(2015年4月～2016年3月)

決算説明資料

株式会社MCJ

東証第2部：6670

2016年3月期 連結業績サマリー

売上高1,032億円、営業利益51億円
 営業利益、親会社に帰属する当期純利益が過去最高益を達成

(百万円)

	2016年3月期通期 (4月～3月)			2016年第4四半期 (1月～3月)		
	2015年3月期 通期	2016年3月期 通期	前年同期比	2015年3月期 第4四半期	2016年3月期 第4四半期	前年同期比
売上高	102,889	103,288	+ 0.4%	27,024	28,547	+ 5.6%
営業利益	5,068	5,167	+ 1.9%	1,095	1,204	+ 9.9%
経常利益	5,217	5,014	- 3.9%	1,207	1,292	+ 7.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,627	3,087	+ 17.5%	△ 4	800	-

連結損益計算書

(百万円)

	2015年3月期 通 期		2016年3月期 通 期		前年同期比 増減 金額
	金額	売上対比	金額	売上対比	
売 上 高	102,889	100.0%	103,288	100.0%	398
売 上 原 価	81,651	79.4%	81,798	79.2%	147
売 上 総 利 益	21,238	20.6%	21,489	20.8%	251
販 売 費 及び一般管理費	16,169	15.7%	16,322	15.8%	152
営 業 利 益	5,068	4.9%	5,167	5.0%	98
経 常 利 益	5,217	5.1%	5,014	4.9%	△ 202
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	4,277	4.2%	4,616	4.5%	338
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,627	2.6%	3,087	3.0%	459

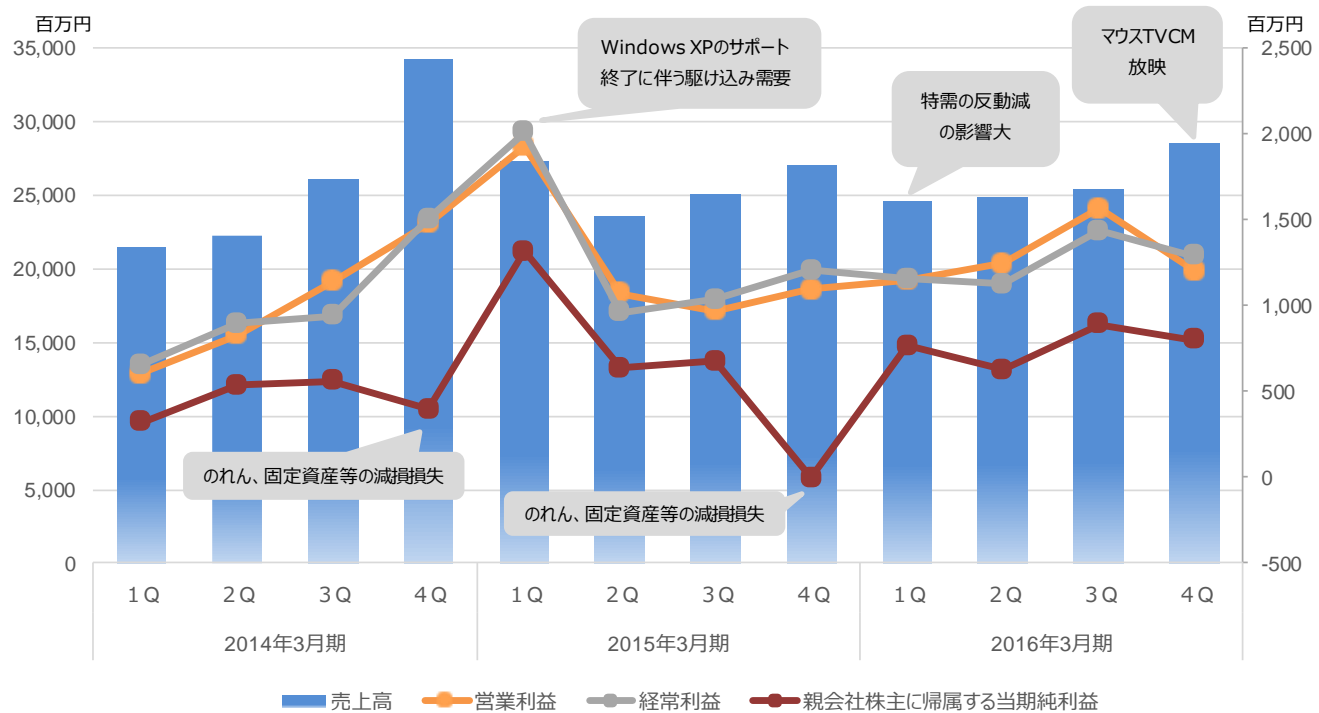
2016年3月期 業績計画に対する達成率

4指標すべてにおいて計画を達成
2期連続で、営業利益、経常利益ともに50億円を突破

(百万円)

	2016年3月期 通期 実績	2016年3月期 通期 計画	達成率
売上高	103,288	100,411	102.9%
営業利益	5,167	4,567	113.1%
経常利益	5,014	4,568	109.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,087	3,045	101.4%

四半期連結業績推移

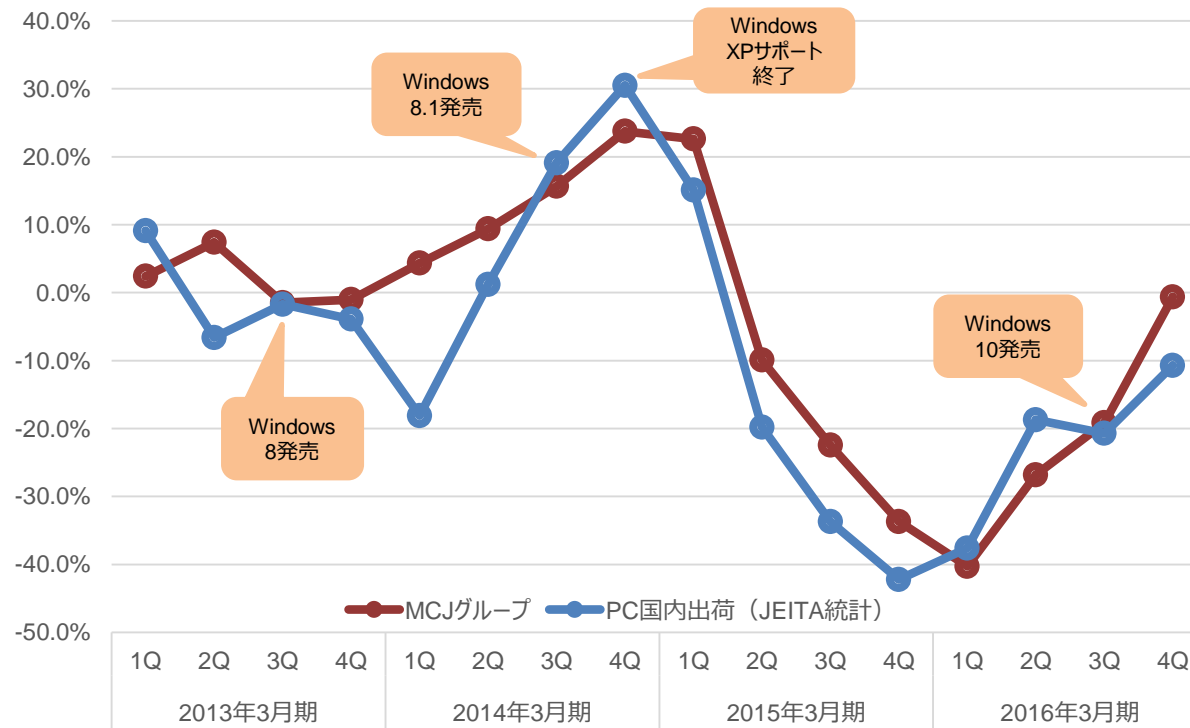


	2014年3月期				2015年3月期				2016年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
売上高	21,388	22,313	26,061	34,240	27,301	23,501	25,062	27,024	24,544	24,766	25,429	28,547
営業利益	608	830	1,140	1,481	1,931	1,071	969	1,095	1,150	1,245	1,567	1,204
経常利益	658	897	943	1,506	2,012	962	1,034	1,207	1,158	1,127	1,435	1,292
親会社株主に帰属する当期純利益	319	537	561	394	1,316	636	678	-4	768	625	893	800

Windows XPサポート終了に伴う特需

国内パソコン出荷台数増減率の推移

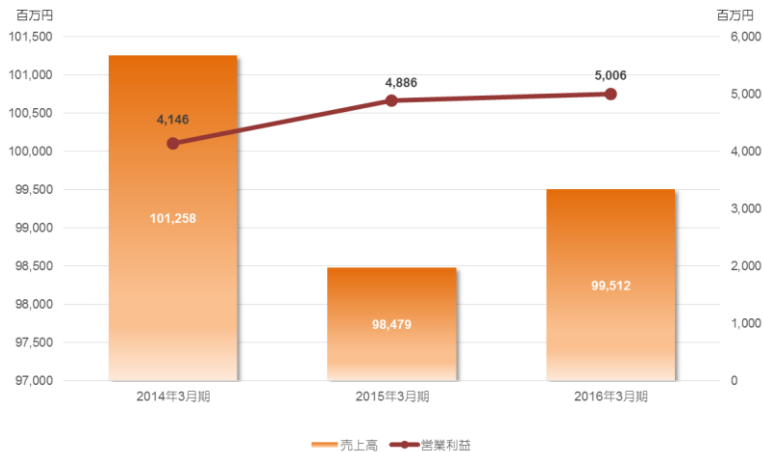
当社グループにおいては、前年比でのマイナス幅が大幅に縮小



※上記グラフは、四半期（会計期間）ごとの出荷実績を比較したものです。

セグメント情報 【パソコン関連事業】

第4四半期の広告宣伝効果による売上高増加に加え、欧州モニタ販売は引き続き順調
TVCMを含む広告宣伝等の先行投資費用を吸収し、営業利益は増加



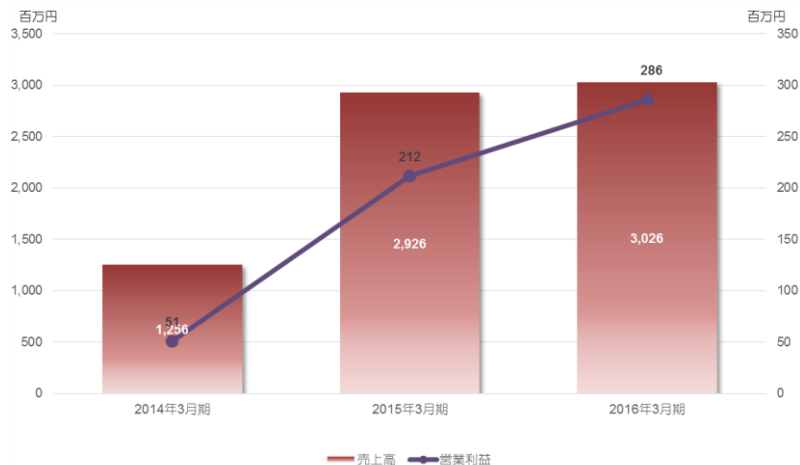
- パソコン製造・販売および小売部門
 - ・タブレット型PC等の売上伸長により主力PCの販売減少をカバー
 - ・法人顧客取引が順調に拡大
 - ・利益率の高い、中古リユース、サポート関連事業の好調により、粗利率が上昇
 - ・販管費は、先行投資で増加した一方で、不採算店舗の統廃合で減少した結果、微増
- パソコン基幹パーツの代理店販売・卸売部門
 - ・大手流通会社等、法人顧客の拡充やCPU販売の好調により、売上高増加
 - ・ソフトウェア、PCパーツ販売が軟調
 - ・粗利率の低下が営業利益に影響
- モニタの欧州販売
 - ・産業用タッチパネルモニタ、デジタルサイネージ製品販売が大幅に伸長
 - ・汎用モニタや個人向けタッチパネルも好調に推移
 - ・為替の影響により、経常利益は減少

	2015年3月期 通期		2016年3月期 通期		前年同期比	
	金額	構成比率	金額	構成比率	増減額	増減比率
売上高	102,889	—	103,288	—	398	0.4%
パソコン関連事業	98,479	95.7%	99,512	96.3%	1,033	1.0%
総合エンターテインメント事業	2,926	2.8%	3,026	2.9%	99	3.4%
ICT関連事業	1,547	1.5%	771	0.7%	△ 776	-50.2%
営業利益	5,068	—	5,167	—	98	1.9%
パソコン関連事業	4,886	96.4%	5,006	96.9%	119	2.5%
総合エンターテインメント事業	212	4.2%	286	5.6%	74	34.8%
ICT関連事業	-3	—	-95	—	△ 92	—

(注) 上記表には、連結消去及び全社費用等の金額が含まれていないため、合計売上高の数値と各セグメント数値の合計値とが異なります。
なお、構成比は、全社費用を含んだ数値を基に算出しております。

セグメント情報 【総合エンターテインメント事業】

直営店の増加により売上高増加



- 複合カフェ「aprecio」の運営
 - ・事業譲受により直営店舗が増加
 - ・既存店や譲受店舗の設備投資による販管費の増加を吸収し、営業増益

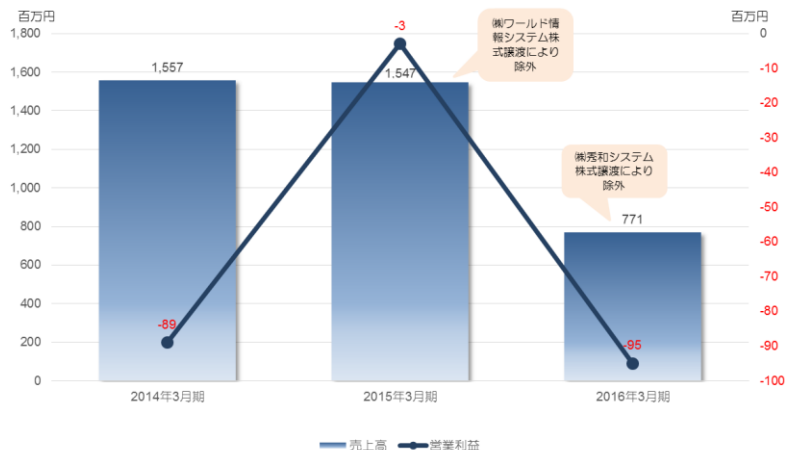


	2015年3月期 通期		2016年3月期 通期		前年同期比	
	金額	構成比率	金額	構成比率	増減額	増減比率
売上高	102,889	—	103,288	—	398	0.4%
パソコン関連事業	98,479	95.7%	99,512	96.3%	1,033	1.0%
総合エンターテインメント事業	2,926	2.8%	3,026	2.9%	99	3.4%
ICT関連事業	1,547	1.5%	771	0.7%	△ 776	-50.2%
営業利益	5,068	—	5,167	—	98	1.9%
パソコン関連事業	4,886	96.4%	5,006	96.9%	119	2.5%
総合エンターテインメント事業	212	4.2%	286	5.6%	74	34.8%
ICT関連事業	-3	—	-95	—	△ 92	—

(注) 上記表には、連結消去及び全社費用等の金額が含まれていないため、合計売上高の数値と各セグメント数値の合計値とが異なります。
 なお、構成比は、全社費用を含んだ数値を基に算出しております。

セグメント情報 【ICT関連事業】

(株)ティアクラッセの株式譲渡により、ICT関連事業セグメントは消滅の見込み



- (株)秀和システム 2015/12/22譲渡完了 (2015年10月1日付『連結子会社の異動 (株式譲渡) 及び特別損失の計上に関するお知らせ』リリース参照)
 - ティアクラッセ(株) 2016/4/1譲渡完了 (2016年4月1日付『連結子会社 (孫会社) の異動に関するお知らせ』リリース参照)
- ※ 上記2社の全株式を譲渡したため、「ICT関連事業」の対象会社は全て連結の範囲から外れることから、平成29年3月期より同セグメントは消滅の見込みです

	2015年3月期 通期		2016年3月期 通期		前年同期比	
	金額	構成比率	金額	構成比率	増減額	増減比率
売上高	102,889	—	103,288	—	398	0.4%
パソコン関連事業	98,479	95.7%	99,512	96.3%	1,033	1.0%
総合エンターテインメント事業	2,926	2.8%	3,026	2.9%	99	3.4%
ICT関連事業	1,547	1.5%	771	0.7%	△ 776	-50.2%
営業利益	5,068	—	5,167	—	98	1.9%
パソコン関連事業	4,886	96.4%	5,006	96.9%	119	2.5%
総合エンターテインメント事業	212	4.2%	286	5.6%	74	34.8%
ICT関連事業	-3	—	-95	—	△ 92	—

(注) 上記表には、連結消去及び全社費用等の金額が含まれていないため、合計売上高の数値と各セグメント数値の合計値とが異なります。
なお、構成比は、全社費用を含んだ数値を基に算出しております。

パソコン関連事業主要子会社の2016年3月期業績（累計）

■ マウスコンピューター（単体）

（単位：百万円）

	2015年3月期 通期	2016年3月期 通期	前年同期比
売上高	28,360	28,843	101.7%
営業利益	1,559	1,207	77.4%
経常利益	1,298	1,310	100.9%
当期純利益	795	841	105.8%

タブレットPCの販売順調に加え、広告宣伝の効果により売上高増加
ブランド認知度向上のためのTVCM等により営業利益減少

■ テックウインド（単体）

（単位：百万円）

	2015年3月期 通期	2016年3月期 通期	前年同期比
売上高	33,270	33,443	100.5%
営業利益	546	524	95.9%
経常利益	653	483	74.1%
当期純利益	419	304	72.4%

法人顧客の拡充、CPU販売の好調により売上高増加
為替差損の発生、粗利率の低下により利益減少

■ iiyama Benelux（単体）

（単位：百万円）

	2015年3月期 通期	2016年3月期 通期	前年同期比
売上高	17,344	19,412	111.9%
営業利益	2,429	2,531	104.2%
経常利益	2,539	2,356	92.8%
当期純利益	1,906	1,774	93.1%

産業用タッチパネルモニタ、デジタルサイネージ製品の売上が大幅増加し、営業
利益も伸長。為替の影響により経常利益は減少

■ ユニットコム（単体）

（単位：百万円）

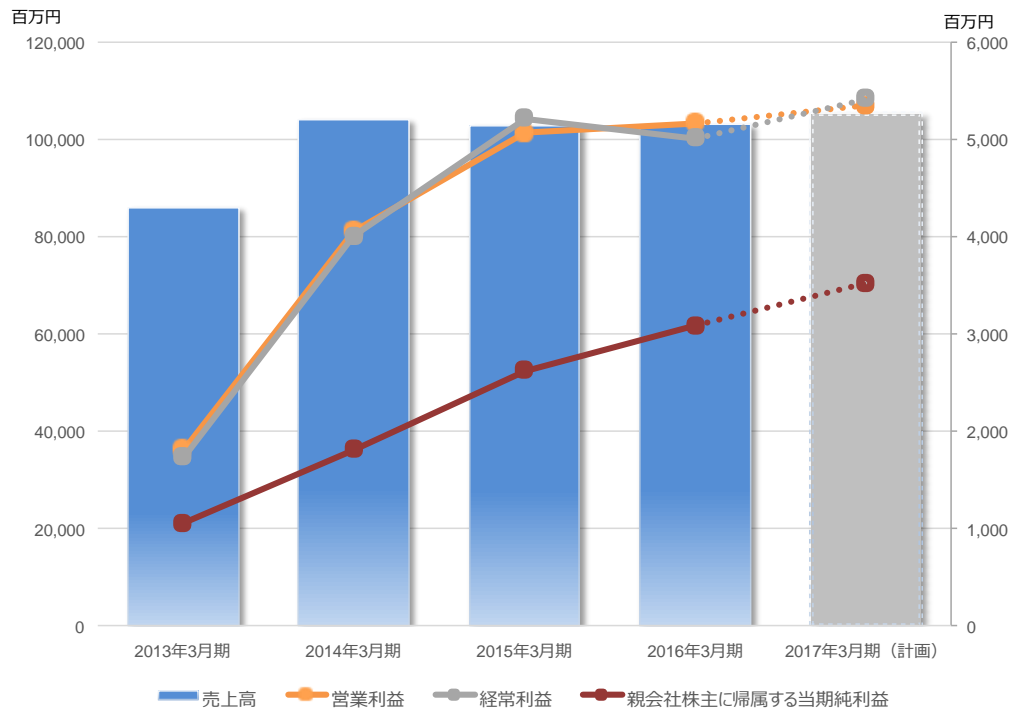
	2015年3月期 通期	2016年3月期 通期	前年同期比
売上高	31,381	28,334	90.3%
営業利益	343	513	149.8%
経常利益	422	521	123.4%
当期純利益	115	42	36.6%

引き続き粗利率の高い中古リユース、サポート関連事業は堅調
不採算店舗の統廃合も一段落、収益構造が改善

2017年3月期 連結業績計画

積極的な新製品・サービスへの参入やブランド認知向上のためのマーケティング策に加え、M&A、VB投資や事業提携等により、一層の成長の加速、事業拡大を目指す

	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期 (計画)
売上高	85,866	104,003	102,889	103,288	105,288
営業利益	1,808	4,061	5,068	5,167	5,353
経常利益	1,737	4,005	5,217	5,014	5,424
親会社株主に帰属する当期純利益	1,054	1,812	2,627	3,087	3,523



2017年3月期 連結業績計画

2017年3月期 第2四半期累計および通期業績計画

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
第2四半期 累計計画	51,802	2,476	2,534	1,797
売上高比率	-	4.8%	4.9%	3.5%
対前年同期 増減率	5.1%	3.4%	10.9%	29.0%
通期計画	105,288	5,353	5,424	3,523
売上高比率	-	5.1%	5.2%	3.3%
対前年 増減率	1.9%	3.6%	8.2%	14.1%

配当予想

業績計画を上回り、配当は1株当たり13円に増配

	2014年3月期 (実績)	2015年3月期 (実績)	2016年3月期 (予定※)	2017年3月期 (予想)
年間1株当たり 配当金	5円46銭	10円00銭	13円00銭	14円50銭
配当性向	15.0%	18.6%	20.5%	20.0%

※平成28年6月29日開催予定の当社定時株主総会に付議する予定です。

- ◆ 当社グループは、経営成績に応じた業績配分型の配当を基本方針として、親会社株主に帰属する当期純利益の20%を目標とする配当性向としております。

株主優待制度導入

2016年3月期より、株主優待制度を新規導入
企業価値とともに株主総還元性向の向上を目指す

	『パソコンワンコイン 診断サービス』※1 利用券	10,000円相当の商品 ※2
100株以上 1,000株未満	2枚	—
1,000株以上	2枚	1点

※ 100株 = 1単元

- ※1 当社連結子会社である(株)ユニットコムが実施するサポートサービス
 ※2 当社オリジナル商品カタログからの選択方式（10,000円相当の飲食料品が中心）

詳細は、当社ホームページ内「配当・株主優待」をご覧ください <http://www.mcj.jp/ir/yutai.html>

参考資料

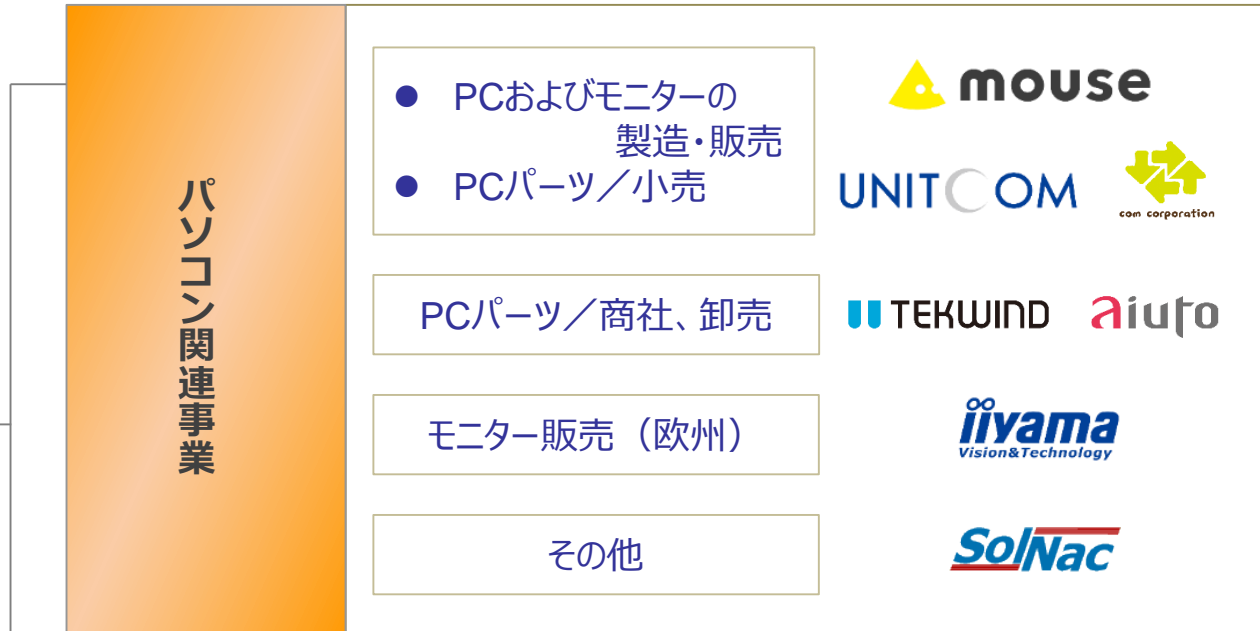


会社概要

- 商号 : 株式会社MCJ (英語表記 MCJ Co.,Ltd.)
- 設立 : 1998年8月
- 代表者 : 代表取締役社長兼会長 高島 勇二
- 資本金 : 3,849,104,600円
- 従業員数 (連結) : 1,095名 (2016年3月末現在)
- 発行済株式数 : 50,862,300株
- 証券コード : 6670 (東京証券取引所第2部上場)

グループ概要

2016年4月1日現在



■ PC本体、PCパーツ、モニター、PC周辺機器等の製造・販売（11社）

総合エンターテインメント事業



■ 複合カフェ「aprecio（アプレシオ）」の運営（1社）

※平成28年4月1日付で、ティアクラスセ(株)の全株式を譲渡したため、「ICT関連事業」の対象会社が全て連結の範囲から外れることから、平成29年3月期より、同セグメントは消滅する見込みです。

免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提として作成されており、実際の業績等は様々な要因によりこれらの見通しとは異なる可能性があります。

当社は、これらの将来の見通しに関する事項を常に改定する訳ではなく、またその責任も有しません。

尚、実際の業績等に影響を与えうる主な項目例は以下の通りとなりますが、将来見通しに影響を与える項目はこれらに限定されるものではありません。

- 当社グループの事業領域を取り巻く各種経済情勢
- 当社グループの製品・サービスに対する需要
- 新製品等開発に係る当社グループの能力及び新製品・サービスの動向
- M&Aや他社との事業等の提携
- 資金調達環境、為替動向等の財務を取り巻く環境
- 事故・自然災害等

< IR及び本資料に関するお問い合わせ >

株式会社MCJ

法務・IR部 広報IR担当

TEL 03-6739-3991

HP www.mcj.jp/